平成３１年度　「志教育」　全体計画

宮城県白石工業高等学校

校　訓
誠　実

学校教育目標

1　正しい判断力と創造性に富む知的な人間を育成する。
2　自主，自律の態度を養成するとともに，個性の伸長をはかる。
3　健康で情操豊かな人間を育成する。
4　勤労を愛し，明朗で責任感の強い，誠実な工業技術者を育成する。

生徒の実態

○明朗・活発で，基本的生活習慣はある程度身についている。
○卒業後についての目標を持ち，積極的に学校生活を送っている。
○目標設定が低い傾向のある生徒が若干名いる。

教師の願い

○豊かな情操，豊かな感性，豊かな想像力を身につけ，社会の変化に主体的に対応できる生徒の育成。
○豊かな職業人として，他者と協力し，社会に貢献する人材を育成する。

「志教育」の目標

○他者を尊重し，協力しながら自己を律し，自己実現を目指す生徒の育成。
○広い視野と高い課題意識を持ち，目標達成のために柔軟に対応できる生徒の育成。
○将来の職業人として，社会の中で確実に役割を担い，その役割を果たす力と態度の育成。
○地域産業の活性化に寄与する，確かなものづくりのできる高い倫理観を持った人材の育成。

保護者の願い

○心身共に健康で,協調と感謝の心を忘れず将来の目標に向けて充実した生活を送ってほしい。
○社会のルールやマナーを身に付けた規範意識の高い生徒になってほしい。
○あいさつ，身だしなみなど基本的習慣を身に付け,相手を思いやれる心を持った生徒になってほしい。

重要指導事項

	かかわる		もとめる		はたす
	人と関わる力	自分と向き合う力	学び深める力	創る力	はたす力
1年	よりよい人間関係を構築し，他者と協力し物事に取り組む力を高めさせる。	自己理解に努め，自己を律する力を養い，他者を寛容する力を高める。	自己の可能性を高めるために，日常生活における整った姿や形がいかに重要かを認識させ，主体的に学習に取り組ませる。	自己の興味・関心・適性を分析させ，それに応じた進路について考えさせる。	学校や社会において自分の果たすべき役割を自覚させ，積極的に学校生活に取り組ませる。
2年	学校行事や地域の行事に積極的に参加させる。	学校行事，地域社会の中での自己の在り方，生き方の価値を考えさせる。	本校への入学目的を再認識させ，将来の進路目標を明確にし，今取り組むべきことに力を注がせる。	問題解決能力の向上と，より良い環境を創るための発信力を高める。	インターンシップやものづくり企業見学会、修学旅行などを通して，社会の仕組みを理解し職業人としての意識を高める。
3年	互いに高め合う人間関係を構築させる。	自己を客観視し，自己の在り方，生き方にかかわる価値観の認識を深めさせる。	進路実現を図る上で，自己課題を解決していく態度やスキルを身につけさせる。	将来についての総合的・現実的な理解に基づいて進路を主体的に切り拓かせる。	社会の一員として，職業という役割を担い，その責任を果たすための努力をいとわない姿勢と心構えを持たせる。

各教育活動における取り組みの観点

各教科	基礎・基本となる内容を確実に身につけ，それを基に自己の課題を見つけ自ら考え,問題を解決する能力を育てる。
道　徳	学校の教育活動全体を通じて，自己を見つめ，他者を尊重しながら人間としての在り方，生き方を探究し，自己実現を目指した実践力を育てる。
総合的な学習の時間	自己の進路に対する課題を見つけ，自ら考え，問題を解決する能力を育てる。また，学び方や物事の考え方を身につけ，問題の解決や探究活動に取り組む態度を育てる。
特　別 活　動	コミュニケーション能力を高め，望ましい人間関係の構築を軸に，各活動を進める。各種体験活動をとおし，自主的・実践的な態度を養う。
その他	清掃活動を通じて，勤労の意義や尊さを理解し、働くことや創造することの喜びを体得し、社会奉仕の精神を養いながら，達成感，公共心を醸成しつつ，好ましい人間関係を育てる。

家庭との連携

○ＰＴＡ総会，地区ＰＴＡ懇談会，公開授業，三者面談・学校アンケート調査などの機会を通じて情報交換を図り，ＰＴＡの連携を充実させる。
○学校新聞，学級新聞，進路だより，ホームページにより学校の様子をこまめに知らせ，保護者への安心保障と信頼関係を築く。

各学年の取り組み内容

１年	校訓「誠実」のもとに規範意識を高めつつ，より良い人間関係の形成力を養い，高校生活への適応を図る。 ものを大切にする「ものづくり」の基本精神を根付かせ，自己及び他者理解を深めさせる。
２年	学校行事や地域行事へ積極的に参加させ，望ましい人間関係の構築を進められるようにする。自己の個性や進路の理解を基に進路の具体的・現実的な吟味をさせ，進路目標および具体的な進路計画の設定ができるようにする。
３年	互いに高めあう人間関係を形成する能力を育てる。自己の進路等に関連する具体的な課題を設定させ，その解決に向けた実践的な態度および社会参画への自覚や意欲を高めていく。

地域・企業との協働

○インターンシップや工場見学，社会人講話を実施すると共に，熟練技能者による技術指導等企業の教育力を活用する。

○白石市役所や各自治体および大河原地方振興事務所等と連携を図り，各種団体が主催する行事へ積極的に生徒を参加させ，社会の一員であることを自覚させる。

○学校開放講座，中学校への出前授業などの講師を生徒が務め，日常の学習で身につけた専門力を活用する場面の設定に努める。

○地元の中学校との交流の機会をもち，様々な協働活動の中で自己の役割を主体的に果たすことで，地域社会との連携を深める。